

「学校教育目標」と「2024年度重点目標」に向けて

地域貢献の意識を持ち行動するために、主体的かつ粘り強く学習する生徒の育成

豊かな人間性

- 自己の在り方生き方を考えさせる教育活動
- 主体性を育み、達成感や自己肯定感を味わえる教育活動
- 地域や家庭と連携した多様な社会体験

健康・体力

- 部活動の充実
- 熱中症などへの対策
- 交通安全に関する指導
- 自己管理能力の育成

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 自ら目標を設定し、課題を見つける
- 他者を尊重し、協力して問題を解決する
- 社会の一員としての責務を自覚し果たす
- 進路実現に必要な実力を身につける

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 知的好奇心や情報収集の方法
- 多様性に関する知識と判断力、行動
- 市民としての自覚と常識
- 受験を乗り切る知識と思考力

子供の実態

- 生活面学習面共に真面目で協調性に富むが、積極的意欲的に他を取り込む力が不足している。

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 個に応じたきめ細やかな指導
- 各生徒の情報と対応の共有
- 外部機関との連携

目指す子供の姿

- 自立的・継続的に取組む
- 自分を広げる事に意欲的
- 多様性の尊重
- 社会で生きる力の獲得

何を学ぶか

○教育課程の編成

- 粘り強く学び続ける態度、協力し合う態度
- 言語能力の育成
- 自己管理能力
- 市民としての自覚と常識

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 授業、行事など教育活動全体を通して
- 対話型授業、プレゼンや作文などの成果物
- ICTの利活用、調べ学習、予習・復習の定着
- 多様な体験学習、地域との交流、各行事

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 教員の資質向上…校内研修・校外研修・先進校視察・授業改善・他校種との連携
- いじめ等の人権侵害への対応…未然防止・早期発見・早期対応・チーム対応・外部連携
- 組織対応…情報の共有、家庭や地域との連携、家庭の支援→信頼される学校づくり

安心・安全を守る

- 交通マナー、SNSマナーの講習、道徳を通じた考察
- 仲間作り、人権教育→安心できる学校・教室

開かれた学校作り

- 地域人材、外部人材の活用(卒業生含む)
- 学校便り等での情報発信、行事への地域住民の参加